

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2010-64484(P2010-64484A)

【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-206741(P2009-206741)

【国際特許分類】

B 41 J 29/38 (2006.01)

【F I】

B 41 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月7日(2012.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷装置の動作方法であって、

a) モータと駆動ベルトを用いて画像形成部材を駆動するステップと、

b) プリントヘッドを用いて前記画像形成部材に印字材料を堆積させるステップと、

c) 前記モータの第1の速度を算出するステップと、

d) 前記画像形成部材の第2の駆動速度を算出するステップと、

e) 前記第2の速度から調整された第1の速度を引くことで求められる滑り速度に基づいて前記駆動ベルトの滑り比を算出するステップと、

を有することを特徴とする方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法において、

前記画像形成部材を駆動するステップは、画像形成ドラムを駆動し、前記駆動ベルトは前記画像形成ドラムと前記モータとを動作可能に接続されている、

ことを特徴とする方法。

【請求項3】

請求項1に記載の方法において、

前記第2の速度を算出するステップは、前記画像形成部材の角速度を算出する、

ことを特徴とする方法。

【請求項4】

印刷装置であって、

ロータを含むモータと、

前記ロータの回転に基づいて第1信号を提供するように構成された第1センサと、

前記モータに動作可能に接続されたベルトと、

前記ベルトに動作可能に接続された画像形成部材と、

前記画像形成部材に印字材料を堆積させるように構成されたプリントヘッドと、

前記画像形成部材の回転に基づいて第2信号を提供するように構成された第2センサと

、
前記第1信号及び前記第2信号を受信し、前記第1信号及び無負荷時の駆動比に基づいて調整速度を決定し、前記第2信号に基づいて前記画像形成部材の角速度を算出し、そし

て、前記画像形成部材の角速度から前記ロータの調整速度を引くことで求められる滑り速度に基づいて前記ベルトの滑り速度を算出するように構成された制御部と、
を有することを特徴とする印刷装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の印刷装置において、
前記第 1 センサは、ホール効果センサまたは光センサであり、前記第 1 信号は、前記ロータの角速度を示す信号であり、
前記第 2 センサは、ホール効果センサまたは光センサであり、前記第 2 信号は、前記画像形成部材の角速度を示す信号である、
ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の印刷装置において、
前記画像形成部材は、画像形成ドラムである、
ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 7】

請求項 4 に記載の印刷装置において、
前記制御部は、さらに、前記滑り速度が閾値を超えた場合、前記ロータのトルクを制限するように構成される、
ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 8】

印刷装置であって、
ロータを含むモータと、
前記ロータの回転に基づいて第 1 信号を提供するように構成された第 1 センサと、
前記モータに動作可能に接続されたベルトと、
前記ベルトに動作可能に接続された画像形成部材と、
前記画像形成部材に印字材料を堆積させるように構成されたプリントヘッドと、
前記画像形成部材の回転に基づいて第 2 信号を提供するように構成された第 2 センサと、
前記第 1 信号及び前記第 2 信号を受信し、前記第 1 信号と前記第 2 信号と無負荷時の駆動比とに基づいて駆動比を算出するように構成される制御部と、
を有することを特徴とする印刷装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の印刷装置において、
前記制御部は、さらに、前記駆動比が駆動比の閾値を超えたか否かを判定するように構成される、
ことを特徴とする印刷装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の印刷装置において、
前記制御部は、さらに、前記駆動比が駆動比の閾値を超えた場合、過度のベルトの滑り又はベルトの摩耗を示す信号を発信するように構成される、
ことを特徴とする印刷装置。